

日中友好新聞

府連通信

2007年7月号
 日本中国友好協会
 大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
[http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/](http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/)

淀屋橋で七・七行動・

盧溝橋事件七十周年・不再戦平和を訴える

七月七日は盧溝橋事件七十
 年の記念日です。前日の六日
 午後五時から、大阪府連の六
 名が淀屋橋で、毎年恒例の宣
 伝を行いました。

ビラを市民に配りながら、

渡辺武府連会長がマイクで
 「盧溝橋事件を中心に、最近
 の侵略戦争を正当化する一部
 の動きを批判しながら、日中
 十五年戦争から学ぶべき歴史
 の教訓と憲法・平和をめぐる
 最近の情勢、不再戦・平和と
 日中友好など」を訴えました。
 仕事帰りの労働者や若い人
 達もよくビラを受け取ってく
 れました。また、ある婦人は
 立ち止まってビラを熱心に読
 んでおられました。



門真支部も七・七のビラを平
 和行進で配布しました。

戦争展今年も開催します

「2007平和のための戦争
 展」は八月二十日～二十三日の
 期間、日中文化センターで開催
 されます。

今年、日本が中国全土へ侵
 略戦争を拡大した盧溝橋事件七
 十周年、そして南京事件七十周
 年にあたります。今、平和と民
 主主義、アジア諸国民との平和・
 友好にたいする攻撃がかつてな
 く強まっている情勢の中、平和
 のための戦争展が開催される意
 義は重要になっています。

今年の、特別テーマは過去に
 日本が犯した侵略戦争を学び、
 歴史の教訓から、二度とこのよ
 うなことを繰り返さないという
 思いを込めて「日中十五年戦争」
 にしました。当時の写真・資料
 のパネルや戦時品なども展示さ
 れますのでぜひ多くの方がご来
 場くださいますようお願い申し
 上げます。

安曇野できりえ交流会 わさび園やちひろ美術館へ

第二六回全国きりえ交流会は、
 六月三十日から三日間、長野県
 の安曇野で開かれ、全国から十
 五人、大阪からは四人が参加し
 ました。
 初日の「私ときりえ」の報告



二日目は、安曇
 野のわさび園を
 スケッチ、三日
 目は「ちひろ美術
 館」を見学し、再
 会を約してお昼
 に解散しました。

は、東京の千貝雅子さんが「作
 品に結実するまで」と兵庫の宗
 田瑛子さんが「きりえ作りの楽
 しさ、普及活動と今後の方向を」
 話されました。

夕食後は「第三九回全国きり
 えコンクール」のスライドを写
 しながら、話し合いました。

「村山談話」は日本政府の不再戦公約

渡辺 武

日中全面戦争のきっかけと
 なった一九三七年七月七日の
 盧溝橋事件から七十年。これ
 を記念して去る七月六日夕方、
 淀屋橋南詰で行われた日中府
 連の日中不再戦アピール行動
 に私も参加しました。

「わが国は、遠くない過去
 の一時期、国策を誤り、戦争
 への道を歩んで国民を存亡の
 危機に陥れ、植民地支配と侵
 略によって、多くの国々、と
 りわけアジア諸国の人びとに
 対して多大の損害と苦痛を与
 えました。私は、未来に過ち
 無からしめんとするが故に、
 疑うべくもないこの歴史の事
 実を謙虚に受け止め、ここに
 あらためて痛切な反省の意を
 表し、心からのお詫びの気持
 ちを表明いたします」

暗い疲れた面持ちで家路を
 急ぐ「勤め人」の群れの多く
 は、残念ながらほとんど関心
 を示しません。しかし、しつ
 かりとビラに目を通し、マイ
 クの訴えに耳を傾ける人もあ
 ります。日中友好協会は毎年
 「7・7行動」を重ねてきま
 したが、今の政治情勢をみる
 と、9・18柳条湖事件記念日
 までの「不再戦月間」の活動

その後、教育基本法の改悪、
 改憲手続法制定、防衛庁の防
 衛省への昇格などをつぎつぎ
 強行し、また、従軍慰安婦の
 強制性否定発言、靖国神社へ
 の供物奉納など、タカの爪丸
 出しの歴史逆流政権であるこ
 とがはつきりしてきました。

この時にあたり、政府に守
 らせるべき最低限の歯止めと
 して元首相の「村山富市首相
 の談話」(一九九五年八月十五日)
 をここに再確認しておきたい
 と思います。

「『しんぶん赤旗』〇六・一〇・四
 (日中友好協会大阪府連会長)
 (大会発言に少し追加して
 いただきました。編集担当)

第五三回大阪府連大会、

一〇名の発言を紹介します

紫金草合唱団について

藤後博己さん

全国四〇〇名の「紫金草合唱団」は南京大虐殺がなかったという逆流の中、音楽を通して日中友好を広げ、鎮魂と平和をテーマにした合唱組曲を歌い続けています。南京大虐殺七十周年の今年十二月に南京市で一五〇名が訪中し、南京市民からも高く評価されている「紫金草」を歌ってきます。

富田林・太極拳教室開設

上村康夫さん

十二月から支部再建を準備し、太極拳教室の宣伝は一万枚のビラを配布、四十名が体験レッスンに参加し、その内十四名で太極拳教室を開設することができました。

門真支部の再建について

中村健二さん

門真支部は1973年4月、分裂後全国最初の支部として結成されました。私は寝屋川支部で活動して来ましたが、2006年夏から準備会として再建のため動きだし、今年五月に二十名で再建支部総会を開催しました。これから映画会や食の交流会、太極拳、中国語講座など門真独自の友好運動をすすめ、HPも作成します。

中国語を学んで

石井 勉さん

日中の中国語教室は、梅田茶屋町の語学銀座の中でよく健闘しています。それは「講師が良い、授業内容も良い、駅からすぐそば、授業料も安い」ということで、一層充実させていきたいと思います。大連短期留学の経験を活かして、中国への語学

太極拳教室について

恒岡正勝さん

三十年にわたり太極拳普及活動に携わってきました。組織化

研修ツアーの企画を考えています。

きりえの活動について

稲田雪男さん

文化大革命以後、大阪は加藤義明さん、東京は滝平さんが中心となり、きりえを全国に広めようと三十年やってきました。中国剪纸は工芸品として扱われ、絵画としては扱ってもらえませんでした。しかしきりえは諸先輩の努力で全国に愛好者が増え、絵画として認知されるようになりました。

明日香での近況報告

広田仁吉さん

第四回全国大会が大阪で開かれ出席し、内山完三さんも参加していたのをおぼえています。文化活動の中で詩集を出したこともあり、文学活動や詩集・文集の企画をしてはどうでしょうか。八十歳を超えましたが明日香で村会議員とガイドボランティアをやっています。目で見えない石舞台もあるが、目で見えないものも沢山あると明日香の本質を語りつくしています。

「府連通信」とHPについて

澤野井公夫さん

全国大会で「府連通信」が佳作に、「西支部ニュース」は優秀賞に入賞しました。内容を充実させながら毎月発行を続けたいです。原稿の投稿を歓迎します。HPも更新期間を短縮し、ブログを開設しながら内容を充実させて行きます。

日中関係の情勢と不再戦運動について

高橋 朗さん

国内では新しい段階に入った中国の政策は格差、環境、汚職問題をかかえています。経済成長の中、資源節約、環境保護、民生問題などにも力を入れて、全体としてバランスの取れた調和をめぐっています。急速な経済成長を背景に国際政治にも比重を高めています。平和な互恵平等の国際秩序をめざし、非同盟諸国との連帯などの外交政策を展開し、北朝鮮の非核化をめざす六カ国協議では、議長役をつとめ朝鮮半島の平和に粘り強い努力で、積極的な平和外交を展開しています。

太極拳教室案内

府連教室 開講中

なんば府立体育館など

月曜日午後六時三〇分から

西支部教室 開講中

北スポーツ・東梅田体育館

木曜日午後六時三〇分から

守口教室・第一中学体育館

金曜日・午後七時から

守口東部教室・東部公民館

土曜日・午後一時から

富田林教室 開講中

富田林市立総合体育館

水曜日午後六時四五分から

詳細は府連事務局まで

07「太極拳まつり」 秋に石清水体育館で開催

表演はアレンジやお祭りの要素の出し物もOKです。普段やっている教室の練習種目をそのままやってもらうのも大歓迎です。西支部主催です。

場所 石清八幡宮研修センター体育館
日時 2007年10月27日(土)～28日(日)

詳細・連絡先：大阪府連06-6372-8131